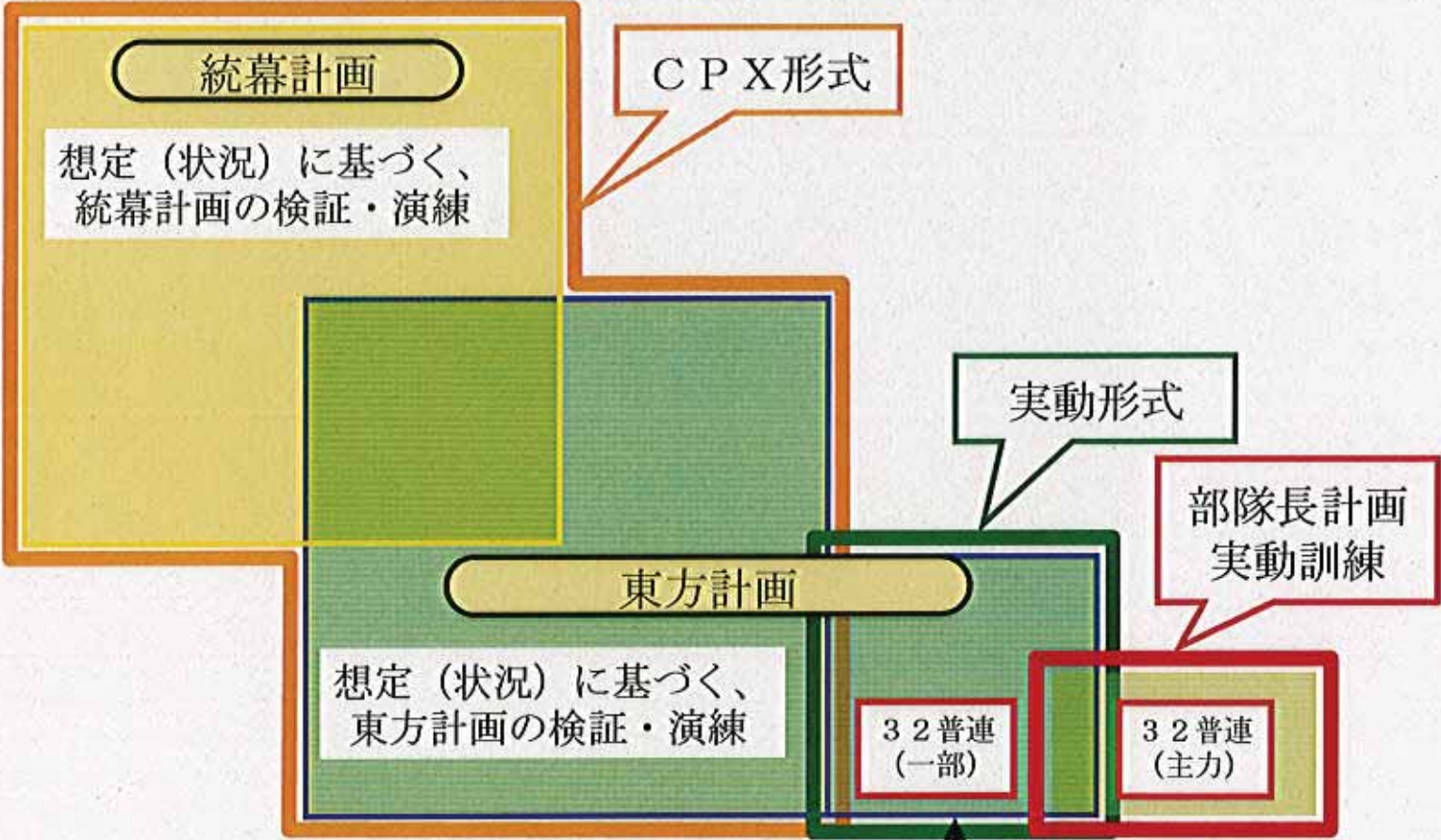


## 平成24年度自衛隊統合防災訓練(24JXR)の概要

- 自衛隊統合防災演習（指揮所演習）は、主として自衛隊の災害派遣に係る統合運用について、指揮所活動を実施し、災害対処能力の維持・向上を図るため、平成18年度以降、毎年実施  
（昨年度は、東日本大震災への対応のため未実施）
- 24年度の本演習は、首都直下地震を想定し、自衛隊の震災対処計画の検証、指揮所活動を演練する演習となっており、7月16日（月）～20日（金）で、防衛省・自衛隊を挙げて実施
- 今年度は、東日本大震災の教訓も踏まえた内容とするため、地方自治体、関係省庁、米軍等について、より一層の参加を期待  
特に、地方自治体等との連携強化が重要な課題と認識

平成24年度自衛隊統合防災訓練(24JXR)参加の枠組み



実動による東方計画の検証・演練  
(想定(状況)に一部連動)  
①後方補給  
②通信・システム

## 第 3 2 普通科連隊演習構想等

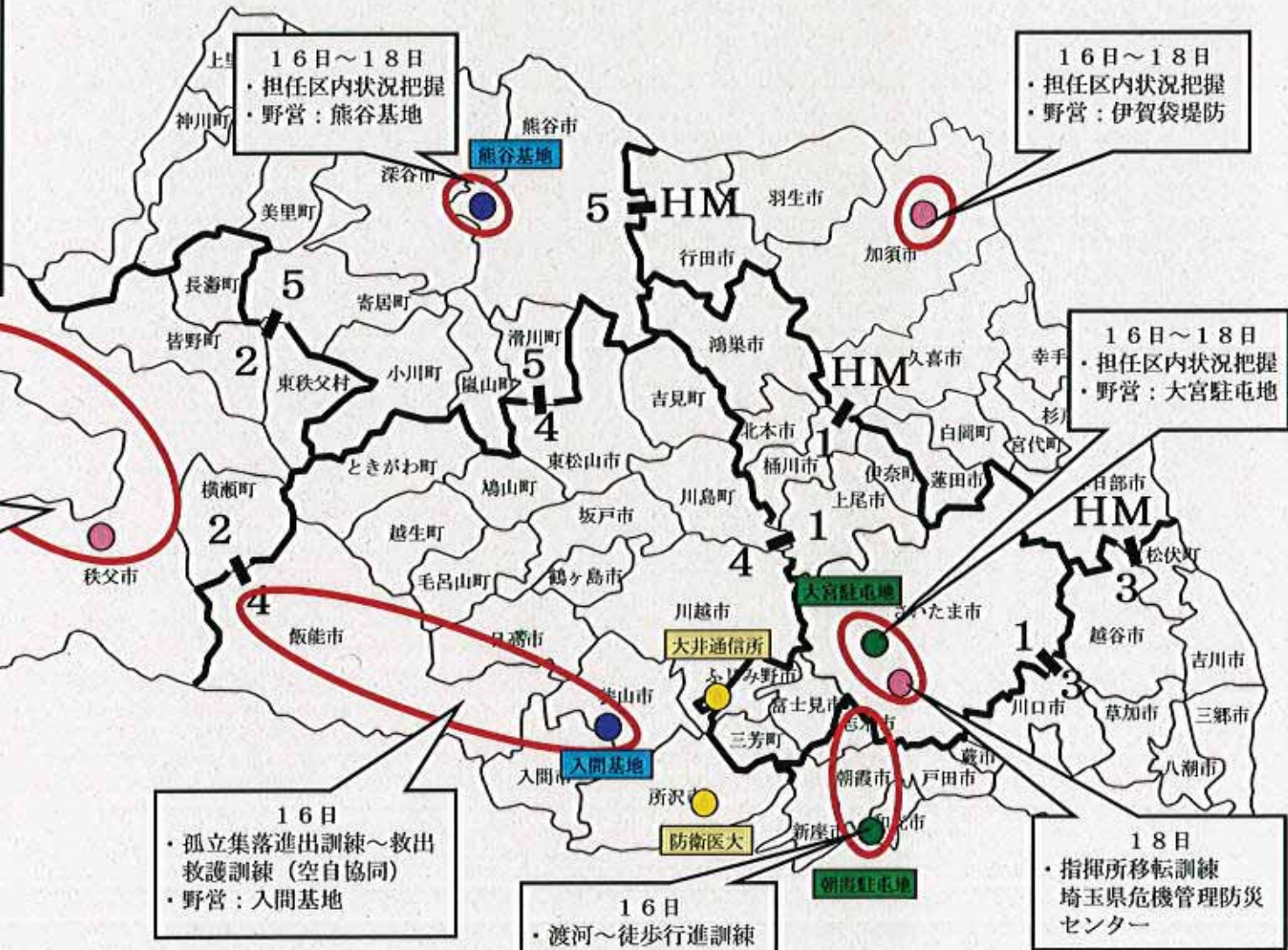
目 的	首都直下地震発生時における初動対処要領を演練し、震災対処能力の維持・向上を図る。
主 要 実 施 事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 緊急登庁～派遣準備</li> <li>2 埼玉県内への部隊展開（大宮駐屯地から朝霞訓練場への部隊進出含む。）</li> <li>3 孤立地域に関する情報収集及び同地域への部隊進出</li> <li>4 埼玉県内活動部隊の通信確保</li> <li>5 各自治体災害対処準備状況の把握</li> </ol>
実 施 時 期	平成24年7月16日（月）～20日（金）
場 所	埼玉県内
参加部隊等	第32普通科連隊基幹
実 施 要 領	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発災後の緊急登庁訓練から災害派遣準備を大宮駐屯地内で実施</li> <li>2 各中隊ごと担任区に展開し、活動拠点を設定</li> <li>3 一部地域において孤立地域への進出訓練を実施</li> <li>4 通信中継所を開設し、県内における活動部隊との通信を確保</li> <li>5 各自治体・活動拠点までの経路（予備経路）、災害時給水拠点、災害拠点病院、ヘリポート、防災基地等を把握</li> </ol>

# 訓練展開図一覧表 (概要)

- 各中隊共通
- 16日X時
  - 緊急登庁訓練
  - 担任区展開訓練
  - 17日~20日
  - 各自治体・担任区内  
災害対処準備状況把握
  - 野外炊事訓練

- 16日
- ・孤立集落進出訓練~  
救出救護訓練
- 17日
- ・徒步行進訓練  
(道路使用申請中)
  - ・野営：影森グラウンド

- 凡例
- 陸上自衛隊 ●
  - 航空自衛隊 ●
  - 自衛隊機関等 ●
  - 関係部外機関 ●
  - 訓練地域 ○



# 部隊展開訓練経路図（朝霞市関係分）

- 1 展開経路  
朝霞蔵線～県道112号線～国道254号線
- 2 展開目標  
陸上自衛隊朝霞駐屯地朝霞訓練場
- 3 訓練部隊
  - (1) 人員 50名
  - (2) 装備 個人装具及び初動対処用器材
- 4 日時  
平成24年7月16日（月）  
1100～1600
- 5 実施要領
  - (1) 上記時間内に2回に分け行進訓練を実施（30名、20名）
  - (2) 行進隊形は1列縦隊で歩道を行進
- 6 訓練の連絡及び道路使用許可申請
  - (1) 埼玉県警察本部
  - (2) 埼玉県朝霞警察署

凡 例	
道路	
施設	
交差点	
休憩所	



## 服装（基準：行進訓練時）

背囊入組品及び携行品(基準)	
背 囊 入 組 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>○被服類</li> <li>迷彩服上下</li> <li>雨衣</li> <li>外被（上衣）</li> <li>下着類</li> <li>日用品</li> <li>○糧食、水</li> </ul>
携 行 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初動対処用器材</li> <li>救助用ロープ</li> <li>エンジンカッター（収納箱）</li> <li>チェーンソー（収納箱）</li> <li>ピック付バール</li> <li>油圧式カッター（収納箱）</li> <li>救急セット等</li> </ul>

